

令和3年度 調布市立 神代 中学校 学校経営計画（学校長 高橋 剛三）

学校の教育目標	
○ 自ら学び、考える人になろう	○ 礼儀を重んじ、思いやりのある人になろう
○ 骨身惜しまず、働く人になろう	○ 体を鍛え、健康な人になろう
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
【目指す学校像】	だれもが生き生きと生活し、安心して通える学校
【目指す生徒像】	○あいさつができ、素直に「ありがとう」と言える生徒 ○何事にもあきらめず、挑戦する生徒 ○人の心の痛みがわかり、励ましてあえる温かい心をもった生徒
【目指す教師像】	○人権を何より大切にし、人間性豊かな教師（誠実で、何事にも真摯に対応し愛情のある教師） ○自らを律し、行動力、実践力のある教師（時間や約束を守り、百の輪より一つの実践をできる教師） ○専門性に優れた教師（プロとしての指導力や先見力、見抜く力、判断力、研究心をもった教師）
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	生徒は素直で明るく、真面目であり、学校生活全般も落ち着いて生活することができる。 伝統ある学校であり、PTA・地域の方々の本校に対する愛情が強く感じられる。さらに学校に対しても、とても協力的で活発である。この様に本校に対する期待値も高く、それを教職員に理解させ、組織として教育活動を率先していくことが課題である。
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 「感謝・感動・謙虚」を重点指導内容として、思いやりをもち、豊かな心の育成。 「生徒が学ぶことに真剣となる授業」を目指し、生徒の自立学習の支援を推進し、確かな学力の向上。 生徒の体力・健康推進の向上。校内美化活動の整備 地域への情報発信と地域・保護者から魅力ある学校を目指す 教師力を高め、学級活動・学校行事・部活動・ボランティア活動の充実 前年度まで研究推進校として「持続可能な社会づくり」の継続 	
人・組	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
a) 毎月「いじめ調査」を実施	a) ユニバーサルデザインの活用	a) 委員会活動を通じて、健康意識の向上
b) 規律意識の向上	b) 基礎基本的な学習内容を取得	b) 委員会活動を活性化し、綺麗な学校を目指す。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
a) 学校が楽しいという回答 85%以上	a) 年 2 回 学校関係者等による授業評価の実施	a) 学校保健委員会を年間 1 回実施する。
b) 各集会時後の、服装点検	b) 朝読書の実施と取り出し授業	b) 学校アンケートで、清掃活動の項目を 90%の否定的な意見を目指す。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 保護者・地位との連携	5 教師力の向上	6 特色ある教育活動
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
a) 生徒が安心して登校できる学校	a) 研修から特別支援教育の理解と教師力の向上	a) 授業における SDGs の取り組み
b) 地域から信頼され、魅力のある学校	b) 若手教員の人材を育成し、学校の活性化	b) 研究発表の外部への発信
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
a) 神中生として肯定的な意識を高める	a) 校内における OJT による育成 (年 3 回)	a) 教科、単元ごとによる SDGs の導入
b) 学校から情報の発信や地域行事への参加	b) 各自、一つ上の職層の考えを持って行動する	b) 都・地区における SDGs 研究発表の推進

人材育成・組織運営
1 校内における OJT の取り組みの充実 <ul style="list-style-type: none"> 本校における若手教員の増加における人材育成 <ol style="list-style-type: none"> 本校が初任校・2 校目の教員が約 60%を占めている。学習指導力・生活指導力・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力等の組織貢献力の育成がとても重要と考えている。その為、本校では次のように教職員の OJT に力を注いでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 若手教員を育成し、ベテラン教師が自らの学びになるよう、次の取り組みを実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 初任者から 4 年目までの教員を OJT の対象者とし、担当者ごとにグループを作り、学期ごとにショートミーティングの実施。 OJT 指導者は 2 学期末までに OJT 対象者の授業参観を実施し指導・助言を行い、協議会を実施する。 OJT 対象者は、指導者の授業を見学し、指導・助言を受ける。
2 教職員の職層に応じた人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 約 30 名の職員が 2 校目までの人材構成である。そのために継続的に教諭から主任教諭を目指すよう指導を実施している。主任教諭については、学校組織全体を考え行動できるよう、指導・助言をしている状態である。

